



奇跡の生還のドラマは
ハリウッドも動かした！！

はやぶさ HAYABUSA



映画の撮影現場（竹内結子さん、西田敏行さんとその他出演者）
(C)2011「はやぶさ／HAYABUSA」フィルムパートナーズ

1年前の6月13日、通信途絶やエンジン停止など、絶体絶命のピンチに陥りながらも7年間、60億キロもの旅をした小惑星探査機「はやぶさ」が奇跡的な帰還を果たした。この満身創痍になりながらも必死に任務を果たした「はやぶさ」の感動的なストーリーに、ハリウッドのスタジオが注目。『タイタニック』『アバター』などを手掛けてきた20世紀フォックス映画では、NASAでさえも成し遂げなかった快挙——太陽系誕生の謎を解く手がかりとなる小惑星のサンプルを持ち帰る——というミッションを壮大なスケールで描き、世界配給も視野にいた一大プロジェクトとして映画化することを決定。既に4月13日にクランクインし、5月下旬にクランクアップ。10月1日に日本公開を行う。

映画『はやぶさ／HAYABUSA』は、プロジェクトの7年間にわたる挑戦と苦闘の日々を、事実に基づき描き出す物語で、竹内結子（30）は宇宙科学研究所（現・JAXA）のスタッフとしてこの偉業の一端を担い、自らの生き方も見つめなおす役どころだ。そんな彼女を研究スタッフ兼広報要員としてスカウトする上司役に西田敏行（63）。堤幸彦監督（55）（『20世紀少年』シリーズ、『明日の記憶』）がメガホンをとる。JAXA（宇宙航空研究開発機構）の全面協力のもと、「はやぶさ」が命がけで持ち帰ったカプセルが着陸したオーストラリアのウーメラ砂漠など海外でも撮影。

タイトル = 『はやぶさ／HAYABUSA』

監督 = 堤 幸彦

出演 = 竹内結子 西田敏行 高嶋政宏 佐野史郎 山本耕史 鶴見辰吾

配給 = 20世紀フォックス映画 (C)2011『はやぶさ／HAYABUSA』フィルムパートナーズ

2011年10月1日より 全国ロードショー

